

1 目的

この大会は、中学生に広く軟式野球実践の機会を与え、技能の向上とアマチュアスポーツ精神の高揚を図り、心身ともに健康な中学生を育成するとともに、中学校生徒の相互の親睦を図るものである。

2 主催

愛知県軟式野球連盟

3 主管

愛知県中学生軟式野球連盟

4 後援

愛知県 愛知県教育委員会 (一財) 愛知県高等学校野球連盟 中日新聞社

5 協賛

ナガセケンコー株式会社 P&P浜松
バリアス西日本 株式会社アドキャスト 他

6 会期

11月 3日(土)・4日(日)・10日(土)・予備11日(日)

- 1日目 <いちい信金スポーツセンター野球場> 1・2回戦6試合 (2面)
<大野極楽寺公園野球場> 2回戦4試合 (2面)
- 2日目 <いちい信金スポーツセンター野球場> 準々決勝4試合 (2面)
- 3日目 <いちい信金スポーツセンター野球場> 準決勝・決勝 (2面)

7 会場

いちい信金スポーツセンター 〒491-0804 一宮市千秋町佐野向農756<TEL 0586-77-0500>
大野極楽寺公園野球場 〒491-0143 一宮市浅井町大字小屋裏1400<TEL 0586-51-3015>

8 参加資格

- (1) 選手は、愛知県の中学校に在籍する生徒で、平成30年8月31日までにチーム代表者が「愛知県中学生軟式野球連盟」の正会員となっている者とする。
- (2) 年齢は、平成16年(2004年)4月2日以降に生まれた者に限る。
- (3) 愛知県軟式野球連盟の地区ブロック割(中学)に準じて、理事会および各支部代表理事の推薦を受けたチームとする。
- (4) 1チームの編成は、監督(引率責任者)1名、選手18名以内(スコアラーを含む)とする。また、この他にコーチを2名追加することができる。なお、監督は背番号30、コーチは背番号29、28をつけるものとする。
- (5) 個人情報の取り扱い(利用目的)
大会の主催者は、個人情報保護に関する法令を遵守し、これを適正に取り扱う。また、取得した

個人情報、競技大会運営上必要なプログラム編成及び作成・ホームページ・掲示板・報道発表・記録発表（記録集）等、その他競技運営及び競技に必要な連絡等に利用する。大会に参加する選手はこれに同意する。

9 競技規則

- (1) 2018年公認野球規則に準ずる。
- (2) 使用球は、（公財）全日本軟式野球連盟公認M号球とする。
- (3) その他の使用器具は、（公財）全日本軟式野球連盟公認のものとする。

10 競技方法

- (1) 各地区代表の18チームによる全試合トーナメント方式で行う。
- (2) 各試合7回戦、ただし90分を超えたら新しいイニングに入らない。
- (3) 得点差によるコールドゲームは適用しない。
- (4) 90分を超えたイニングまたは7回を終了しても勝敗が決しない場合は、特別延長戦を行う。
- (5) その他2018年（公財）全日本軟式野球連盟競技者必携に従う。

11 審判

愛知県中学生軟式野球連盟審判部を中心に行う。

12 表彰

- (1) 優勝校には、賞状・優勝杯を授与する。優勝杯は持ち回りとし、翌年の大会で返却し、レプリカを授与する。
- (2) 準優勝校には、賞状・準優勝楯を授与する。準優勝楯は持ち回りとし、翌年の大会で返却し、レプリカを授与する。
- (3) 第3位校（2チーム）には、賞状を授与する。

13 参加料

- (1) 参加料は、各チーム8,000円とする。
- (2) 10月28日（日）の監督会議に持参して納める。

14 監督会議

- (1) 期 日 平成30年10月28日（日）午前10時
- (2) 会 場 豊田市立豊南中学校
- (3) 内 容 確認事項の伝達・協議および組合せ抽選
- (4) 提出物 参加料

※ 登録名簿（HPよりダウンロード → 入力 → c-honan@toyota.ed.jp 寺島宛てに送信）

15 その他

- (1) 大会優勝および準優勝チームは、2019年3月28日～30日に埼玉県で開催される「政令指定都市中学生野球大会」（主催：さいたま市野球連合会）の出場権を得る。
- (2) 雨天順延とする。
- (3) 試合を行うか否かの確認は、各チームが試合当日午前6時以降に行う。
- (4) 問い合わせ先 愛知県中学生軟式野球連盟事務局 090-7864-3741（寺島）
ホームページ：<http://aichi-nanshiki-2014.net>

大会日程

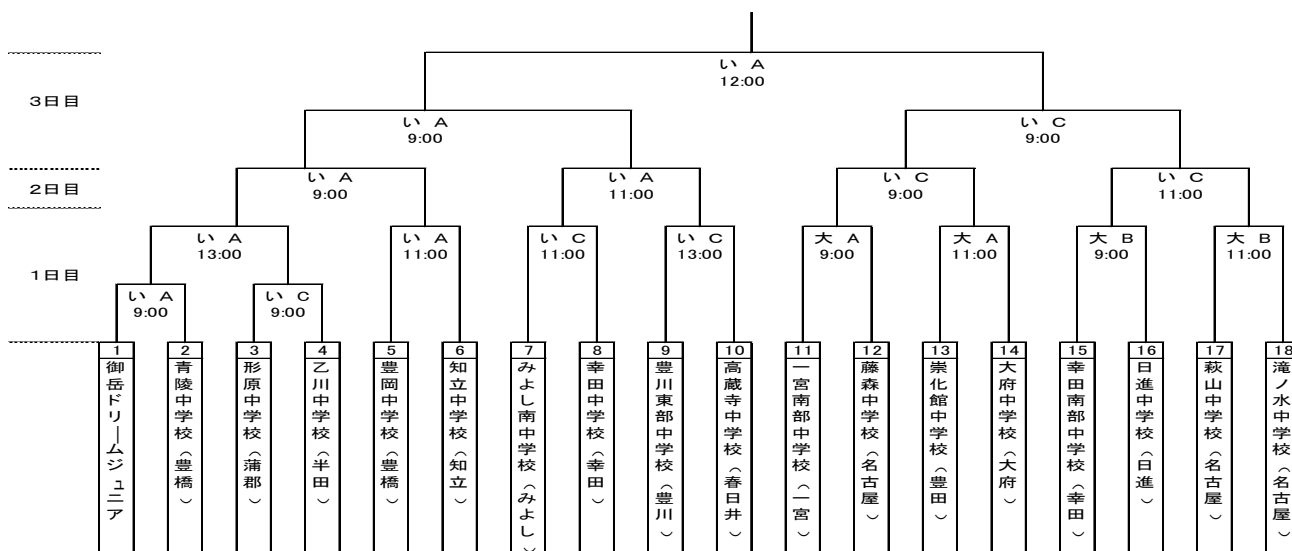
会 期：平成30年11月 3日(土)・4日(日)・10日(土)・予備11日(日)

監督会議：10月28日(日) 10:00～ 豊田市立豊南中学校

競 技

	競技第1日 3日(土)	競技第2日 4日(日)	競技第3日 10日(土)	予備日 11日(日)
いちい信金 スポーツセンター(A)	1回戦 9:00 2回戦 11:00 " 13:00	3回戦 9:00 " 11:00	準決勝 9:00 決勝 12:00	
いちい信金 スポーツセンター(C)	1回戦 9:00 2回戦 11:00 " 13:00	3回戦 9:00 " 11:00	準決勝 9:00	予備日
大野極楽寺公園 野球場(A)	2回戦 11:00			
大野極楽寺公園 野球場(B)	2回戦 9:00 " 11:00 " 13:00			

愛知県知事杯第4回中学生軟式野球大会



式典次第

開 会 式

日 時：平成30年11月3日(土) 8:30

閉 会 式

日 時：平成30年11月10日(土) 14:00

場 所：いちい信金スポーツセンター

1. 来賓・役員・選手 整列
2. 成績発表
3. 表彰
4. 主催者あいさつ
5. 解散

中 止

大会名誉顧問 愛 知 県 知 事 大 村 秀 章

.....
大会 会 長 愛 知 県 軟 式 野 球 連 盟 会 長 山 口 均

大会 副 会 長 一 宮 軟 式 野 球 連 盟 会 長 鳥 越 豊

大会 委 員 長 愛 知 県 中 学 生 軟 式 野 球 連 盟 理 事 長 森 山 正 実

大会 副 委 員 長 愛 知 県 中 学 生 軟 式 野 球 連 盟 副 理 事 長 八 幡 章 雄

大会 副 委 員 長 愛 知 県 中 学 生 軟 式 野 球 連 盟 専 務 理 事 河 合 成 始

大 会 委 員 愛 知 県 中 学 生 軟 式 野 球 連 盟 常 務 理 事 伊 藤 與 一

競 技 委 員 長 愛 知 県 中 学 生 軟 式 野 球 連 盟 理 事 下 平 敦

競 技 副 委 員 長 愛 知 県 中 学 生 軟 式 野 球 連 盟 理 事 藤 原 孝 行

競 技 委 員 石 井 範 秀 渋谷 拓 郎 長 谷 場 健 志

堤 一 真 松 井 智 章 伊 藤 実

花 原 俊 樹 横 井 元 一 永 井 正 俊

後 藤 大 輝 糟 谷 賢 太 寺 島 剛 敏

北 野 暁 山 内 敏 史 兼 子 伸 介

水 野 玄 志 榎 山 祐 介

審 判 長 愛 知 県 中 学 生 軟 式 野 球 連 盟 審 判 部 長 亀 薦 誠 一

審 判 員 愛 知 県 中 学 生 軟 式 野 球 連 盟 審 判 部

第4回 愛知県知事杯中学生軟式野球大会 競技上の規定及び留意事項

1. 2018年度 野球規則による。
2. 試合は7回戦とするが、90分を超えたら新しいイニングに入らない。なお、それでも勝負が決定しない時は、継続打順による特別ルールを行う。
※「特別ルール」
前回の最終打者を一塁走者とし、二塁・三塁の走者は順次前の打者として無死満塁の状態にして1イニング行い、得点の多いチームを勝ちとする。なお、勝敗が決しない場合は、さらに継続打順で繰り返すこととする。
(試合終了時の得点表示は、特別ルールの回を含めた合計得点とする。)
3. 得点差によるコールドゲームは適用しない。なお、暗黒、降雨、その他の事情で試合続行が不可能と判断された場合は、特別継続試合とする。
4. ベンチには次の人員以外入ることができない。
監督(引率責任者)1名、選手18名(スコアラー含む)、コーチ2名、ボールボーイ(ユニホーム着用)5名の、最大計26名までとする。
5. 監督・コーチは選手と同一ユニホームを着用する。なお、監督は「30」番の背番号を、コーチはそれぞれ「29」・「28」番を着用する。
6. スネの保護にならないハイカットのストッキングの着用を禁止する。
7. 捕手は試合中、プロテクター、ヘルメット、レガース、スロートガード、ファールカップを着用する。
8. 打者、走者、次打者はヘルメットを着用する。(両耳タイプの物に統一する。)
9. リストバンド・バットリング・マスコットバットなどの使用を禁止する。
10. 金具の装着されたスパイクの使用を認める。
11. バッティング用の手袋の装着を認める。ただし、白または黒色の単色の物に限る。
12. メガホンの使用は監督に限る。ベンチでの喫煙、サングラスの使用を禁止する。
13. 突発事故が起きた場合(一時走者を代えたいとき)は、球審に申し出て、審判団が必要と認めたときは許可する。なお、頭部への死球については、必ず臨時代走を送る。(その場合、投手・捕手を除く、直前にアウトになった打順の選手)
14. 投球練習は、初回・交代時は7球、イニングの初めは3球以内とする。
15. 無用のタイムは慎み、試合進行に協力する。
 - (1) 打者はみだりにバッターボックスをはずさない。
 - (2) 投手が捕手のサインを見るときは、必ずプレートを踏んで見ること。
 - (3) タイムは1分間を限度とする。ただし、審判員が認めたときはこの限りではない。
16. ベンチは組み合わせの若い番号を一塁側とする。
17. 試合前の練習およびシートノックは選手18名です。ただし、ノックの補助員5名を認める。
(ユニフォーム着用)
また、ノッカーへのボール渡し、及びバット引きは、ヘルメットを着用すること。
18. 変形した金属バットや硬式用の金属バットは使用しない。
19. メンバー表は3部提出する。第1試合は開始30分前に、以後は前の試合の4回終了時をめぐりに、それぞれ監督および主将が本部席へ提出する。

20. シートノックは後攻側から始めて7分以内とする。ただし、試合が延びているときは省くことがある。その時は、先発バッテリーのブルペンでの練習を認める。(4回以降をめぐとする)
21. 自軍ベンチ側のファウルボールは、速やかに拾いに行く。
22. 審判員の宣告に異議を申し出るとは許されない。ただし、規則上の疑義については原則として監督および当該プレイヤーのみが質問することを許される。
23. 規則 8. 0 6 (監督が投手のもとへ行く制限) を適用する。
24. ゲーム中、監督は次の場面以外、ベンチから出てはいけない。
 - (1) 選手交代の申し出をする場合
 - (2) 選手がけがをした場合
 - (3) 審判員の宣告に対して疑義を申し出る場合
 - (4) タイムをとり、選手への指示を簡潔に行う場合 (必要以上に行わない)
25. 規則 3. 0 3 (原注・投手は同一イニングで投手以外の守備位置に二度つくことは許されない。) は適用しない。
26. 応援団は次の事項を守ること。
 - (1) 紙吹雪・テープ・個人名の入ったのぼりなどの使用を禁止する。
 - (2) 相手チームをやじったり、相手チームに不利を招くような応援をしたりしない。
 - (3) 球場の構造物をたたいて音を出すような方法はとらない。
 - (4) 鳴り物については攻撃時使用可とする。
 - (5) 応援席周辺をちらかしたり、中学生らしからぬ行為をしたりしない。
27. 試合終了のあいさつで、すべて完了とし、速やかにベンチを空ける。
(相手ベンチへのあいさつは行わない。)
28. 本部席へは、大会役員・競技役員以外の入室を禁止する。
29. 天候不良の場合、ゲームの問い合わせは(開始3時間前以降に)
30. 投手の投球制限は、1日9イニングまでとする。投球イニングに端数が生じたときの取り扱いについては、3分の1回(アウト1つ)未満であっても、1イニング投球したものとして数える。なお、特別延長に限り、投手は投球制限に関係なく登板できる。投球制限を超えて特別延長戦に登板できる投手は、7回の第3アウト成立時に登板していた投手もしくはその試合において新たに登板する投手とする。
31. タイムの回数制限は、①監督が投手のところへ行ける回数(投手交代の場合は回数に含まない)、②守備側のタイム(捕手または内野手が投手の所へ行く)の回数、③攻撃側のタイムの回数は、いずれも3回以内とする。延長戦は2イニングに1回とする。
32. 大会使用球は、ナガセケンコーM号球とし、本部が用意する。